

こめ

と

つう

しん

2023年9月22日（第5号）

米っ人通信

発行：市川米っくらぶ

会長 西東 篤

青少年育成課

今回の米っ人通信は、9月2日に行った稲刈り、はぜ掛け、防鳥ネット張りの様子をお伝えします！なお、9月5日に脱穀の作業を行いました。

9月2日（土）に

稲刈り、はぜ掛け、防鳥ネット張りをしました！

この日は、42世帯127人の方が参加して活動を行いました。

初めに稲の持ち方、鎌の使い方、稲の縛り方などの説明を受け、稲刈りの開始です。

稲は3株ずつをクロスした形で束ね、稲の長さを揃え、干したときに落ちないようにきつく結ぶことが大切です。

皆が稲を一生懸命に刈ってくれたおかげで、3つの田んぼの稲を残さず刈り取り、前回お父さんたちが作った「はぜ」まで運んで干して、スズメ除けの防鳥ネットを張りました。



かいちょうあいさつ
会長挨拶。



みつはしこまん
三橋顧問よりはぜ掛けの説明。



いねか
稲刈りの始まりです。



うまうか
上手に刈れるかな？



か
刈った稲は綺麗に並べて。



ひとかぶ
一株ずつ丁寧に。



稲の長さを揃えましょう。



上手に刈れました。



ボックス一杯に刈りました。



稲を紐で固く結んで。



稲を沢山抱えて。



「はぜ」まで運びます。



「はぜ」に稲を掛けましょう。



「はぜ」から落ちないように。



はぜ掛け終了です。



鳥に食べられないように。



防鳥ネットを張りましょう。



ピンでとめて完成。



9月5日に脱穀を行いました。



袋の中には稲が一杯。

この後、乾燥機に移し、
粃摺りを行い、精米して皆
さんにお配りいたします。
楽しみにしてください。
皆さん稲刈り、お疲れ様
でした。